

(別紙 2 - 1)

令和 7 年 2 月 21 日

二本松市議会議長 様

会 派 名 みらいの風

代表者名 鈴木 一弘



視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

1 期 間 令和 7 年 1 月 22 日（水）～ 1 月 24 日（金）

2 参加者 ① 鈴木一弘 ② 佐藤源市

③ 斎藤 徹 ④ 佐藤運喜

⑤ 武藤清志 ⑥

3 視察（開催）地及び視察（研修）内容

別紙のとおり



(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの 風
氏 名 鈴木 一弘

○ 月 日 令和 7 年 1 月 22 日 (～ 日)

○ 場 所 出雲市役所

○ 内 容 出雲縁結びプロジェクトについて
定住支援について

○ 視察・研修の感想

市役所のロビーには出雲市中学生サミットの結果の紹介が張り出されていた。
面白い企画なので参考にさせて戴きたいと考える是非ネットで検索してほしい。
縁結び定住課の説明を受けたが、「出雲縁結びプロジェクト」は平成 24 年度より
着手している「男女の出会いの場創出（結婚支援）」である。
気づきが早く人口を維持してきたのも頷ける。事業の運営についても安価で豊富
である。縁結び、定住支援ともに（WEB）（SNS）の利用がとても上手である。
事業に対する本気度が伺える視察となった。参考になるのは大変多いと思う

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

市が取り組む結婚対策については婚活サポートマネージャー（会計年度任用
職員）30才代の女性がけん引する。参考とすべし 20～30 才代の既婚の女性
の登用は理にかなっていると思う。

WEB・SNS などを利用した情報発信が上手である。市全体の気運を向上させ
市民が安心して参加できるように進めているとの事である。

特に移住定住に関する助成金を利用した方に SNS 等で発信してもらうのは良い
令和 5 年度よりメタバース&リアル婚活を実施している。全国初である
7 割がカップルになり女性が県外の方が多いのが特徴のようである。

駅を降りた瞬間に街の活気を感じるが、本気を感じる視察となった。

(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 未来の 風
氏 名 鈴木 一弘

○ 月 日 令和 7 年 1 月 23 日 (～ 日)

○ 場 所 松江市役所

○ 内 容 松江城を中心とした観光まちづくりについて

○ 視察・研修の感想

松江駅を降りると、足湯が設置され地元の方が足を入れて温まっていた。
周りが宍道湖温泉で、足湯の表示が何カ所あったが視察まで時間があつたので、しじみ会館という駅近くの施設に行ってみたが閉館になっていた。
松江城は、国宝であり 37 万人が登城している、当日も賑わいを見せていた。
水の都松江を体感する、20 万人利用の電動舟も平日でも、運行されていた。
観光戦略については、大変よく練り上げられていると思うが、PR が課題との事
松江観光の現状と課題については、事業者、市民と共有されている。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

国宝である城を使って、観光戦略を練り PR が課題であるとの事であった。
本市で、城を整備する必要性は感じられない。天と地ほどの差を感じる。
やはり、松江市でも市内回遊を狙っているようであるが、立地条件が良い。
PR が課題であるとのことだったが、連続テレビ小説「ばけげん」が始まり、
効果抜群であると思うが、NHK には 2～3 回足を運んだとのことであった。
本市にも、少年隊、智恵子抄など題材は多くあると思うが、時世を読みながら
NHK 等のテレビ局にも足を運んでみる努力は必要であると思う。
今であれば、人権問題とどの様に対応してきたのか等なぞらえることが出来れば、可能性はあるかもしれない。直ぐに行動しなければ後れを取る。

(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの 風

氏 名 鈴木 一弘

○ 月 日 令和 7 年 1 月 24 日 (～ 日)

○ 場 所 鳥取市役所

○ 内 容 市議会のインターネット中継等と
「開かれた議会」の取り組みについて

○ 視察・研修の感想

人口 179,404 人、予算規模約 1,074 億円、議員定数 32 人、平成 17 年より、議会改革等検討会を設置し、平成 23 年には議員定数の検討に着手している。令和 2 年に、市民からの要望があり 3 年には団体から要望書が提出された。議会改革検討委員会で協議を重ねて、実施体制の整備に着手したものである。イニシャルコストは 2,805 千円の事業だが要望から着手までの手順は慎重で、検討を繰り返している。新規の事業の着手については、慎重に考えなければ、いけない。駅を出ると街は活気に満ち溢れていた

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

事業としては、高価なものと考えていたが、イニシャルコスト 2,805 千円でランニングコストは 3,453 千円で安価であると考えた。

字幕の変換にはアミボイスが使用され、実際の私たちの会話で変換してくれたが、変換精度はテレビの字幕と変わらず素晴らしいと感じた。

誤返還を減らすために、氏名や専門用語については、予め辞書登録している。

手話通訳者には、前もって原稿を渡すとのことだった。

本市でも、アミボイスの運用を考えているようだが、参考とされたい。

令和元年に新庁舎を移転しているが、議場に至るまでバリアフリー化され、隣接して、喫茶、店舗等もあり昼時には賑わいを見せていた。ホテルを思わせるような作りだが、敷居の低さを感じる。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みずりの風
氏 名 佐藤 源市

○ 月 日 令和 7 年 1 月 22 日 (~ 日)

○ 場 所 長根早 出雲市

○ 内 容 1) いずも緑結びプロジェクトについて
2) 定住支援について

○ 視察・研修の感想

- 1) 平成24年度新入米農の国づくり計画を策定し、25年度より事業実施される。40代前半の未婚率が25%と高く、市民より早急に取り組む要請が強く、緑結び支援策の設置、緑結情報の発信、始末サポーターの配置始末希望者の環起しを図っている。
- 2) 定住支援については、緑結プロジェクトと関連させ、女性や作業などのため細やかな助成金を出し、1.0ターンの定住支援事業へ大々展開し大成功効果を出している。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

- 1) 緑結い事業当時は、テキスト、webサイト運営、SNSでの情報発信が有効であると考えられる
- 2) 定住支援については、緑結事業との連携した取り組みが必要であり、1.0ターンの呼び込み事業への取り組みが必要であると考えられる

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風
氏 名 佐藤 源市

○ 月 日 令和7 年 1 月 23 日 (~ 日)

○ 場 所 松江市役所

○ 内 容 松江城を中心とした観光まちづくりについて

○ 視察・研修の感想

観光戦略プランを2023年～2029年までの7年間で位置づけ
松江城、穴道湖、神和等の湯文化、を一堂に、松江ならではの魅力
を発信し、観光収入500億円、コロナ前より観光客85万人の
うち約8割が回復している状況今後年間収入も750億円を見込む、
基本戦略として、1)魅力ある観光素材の磨き上げ、2)快適に過ごせる
環境づくりと利便性向上、3)松江の魅力や発信、顧客の創造と観光
地松江の土台づくりなど、しっかりと基本が定着していることは観光地と
して、地域全体に伝えていると感じてあった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

- 1) 観光地として基本戦略を策定することが大事である。
- 2) 環境整備においては、観光部門だけでなく土木や道路と一帯を包
摂することが必要
- 3) 行政と市民の連携が鍵となるため、観光事業収益は大きな
力となる取り組みが必要

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みづの風
氏 名 佐藤 淳市

○ 月 日 令和 7 年 1 月 24 日 (~ 日)

○ 場 所 豊取市役所

○ 内 容 市議会のインターネット中継と「開かれた議会」
の取り組みについて。

○ 視察・研修の感想

議会生中継のCATVが平成26年3月より実施され、インターネット中継は平成26年5月より実施され、議会のサービスが市民への関心を喚び出している。特にA1番目の字幕表示と電話通訳については、新庁舎整備が令和元年に伴い、傍聴席にスロープ車、車イススペース、親子傍聴席設置、ヒアリングルームの増設、福祉団体より電話通訳、字幕を付ける要望あり、令和6年9月議会より本格導入されており、市民に議会との交流が図られているのが、印象が深かった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

インターネット中継においては当該年度で実施されており市民の関心は高まっている。今後内容の充実と継続が必要である。

また、電話通訳については今後検討の余地がある。

行政視察報告書

委員名 齋藤 徹

○ 視察日 令和 7 年 1 月 22 (水) 日

○ 視察先 出雲市役所

○ 視察内容 出雲縁結びプロジェクトについて
定住支援について

○ 視察の感想

出雲市は、島根県の中部にあり人口約17万人で近年の人口推移は微減であり「神話の国 出雲」として有名である。出雲大社、須佐神社等の歴史文化遺産等に恵まれている。

出雲市は、出会いの場や婚活の支援として「出雲縁結びプロジェクト」を行っている。定期的な結婚相談・メールで婚活・メタバース婚活・独身者の親御さんの為の結婚応援セミナー・ケーキで婚活(市内菓子店5店舗のお菓子食べ放題)・アニメ・漫画好き婚活等、先進的な取組みに感心した。

定住支援についても、様々な取組が行われており、その中でも一番効果があったのは、「出雲大好きIターン女性支援金」で、内容は引越助成金3万円・家賃助成金2万円・就業助成金3万円等であり、条件を達成すれば最大2年間継続できる。就業助成金は、就職先の市内事業所に支援するものでありバックアップ体制も構築されており、考えられた補助制度だと感じた。

独自の政策等が効果を発揮し一定の人口維持に寄与しており学び多き視察となった。

○ 視察の成果、市政への反映等

1 若者や再婚希望者が魅力的に感じるイベントの開催

2 女性に特化した独自の移住定住政策

行政視察報告書

委員名 齋藤 徹

○ 視察日 令和 7 年 1 月 23 日

○ 視察先 松江市役所

○ 視察内容 松江城を中心とした観光まちづくりについて

○ 視察の感想

松江市は、島根県の出雲地方に位置し県庁所在地であり、中核市である。人口は約 19 万人で、宍道湖畔や大橋川の両端に築かれ、国宝松江城下の堀川等もあり水の都として有名である。

観光戦略プラン（2023~2029）を策定し、2030 年の未来像「世界中から松江に人があつまる」を目的とし“Authentic Japan MATSUE”をコンセプトに掲げている。基本戦略は、1 魅力ある観光素材の磨き上げ 2 快適に過ごせる環境づくりと利便性向上 3 松江の魅力発信と顧客の創造 4 観光地松江の土台づくりである。

施策としては、ぐるっと松江レイクライン・堀川めぐり・松江城ウォーキングマップ等を作成し市内滞在時間の延長を図っている。変わったところでは、スマホアプリを使った松江城観光ガイドであり、現存しない大手門や当時の城下町が VR で再現され立体的に見ることができるシステムである。また、甲冑を着た観光ガイドが、城攻め攻略を説明するツアー等があり人気である。

“Authentic Japan MATSUE”（本物の日本）をコンセプトにしているため、職人街をつくり、伝統文化の後継者づくりにも力を入れているところに感心した。

○ 視察の成果、市政への反映等

1 本市の観光資産を磨き上げ更に P R に力をいれる。

2 市内滞在時間を延長する施策。

3 伝統工芸の保護・補助の施策。

行政視察報告書

委員名 齋藤 徹

○ 視察日 令和 7 年 1 月 24 日

○ 視察先 鳥取市

○ 視察内容 市議会のインターネット中継等と「開かれた議会の取組」について

○ 視察の感想

鳥取市は、県庁所在地であり中核市である。人口は約18万人で鳥取平野東部に形成された城下町である。

鳥取市議会は、インターネット配信を手話同時通訳とAIの音声認識表示ソフトによる字幕表示によりおこなっている。手話同時通訳においては、鳥取県聴覚障がい者協会の協力のもと、年32日間・延96人・384時間（R6）行っている。手話通訳者の人的体制づくりに課題が、先進的な取組みであると考え

る。

「開かれた議会の取組」については、平成25年に“より信頼され開かれた議会”を目指し議会改革検討委員会が設置され、1期2年で令和7年度からは、7期目となる。活動内容としては、執行部への反問権の付与・議会のICT活用について・会議の公開について等であり、本市においては、議会運営委員会が審査する内容についても議会改革検討委員会が審査している。7年度からは、推薦議員からではなく、直接、請願者・陳情者からの意見陳述がおこなわれる予定である。

○ 視察の成果、市政への反映等

1 手話同時通訳は難しいと考えるが、AI字幕翻訳可能である。

2 請願者・陳情者からの意見陳述は検討すべきである。

鳥取市議会放送室



(別紙2-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 佐藤 運喜

○ 月 日 令和7年 1 月 22日(～24日)

○ 場 所 島根県出雲市

○ 内 容 1) いずも縁結びプロジェクトについて

2) 定住支援について

○ 視察・研修の感想

出雲市は、縁結びの神様として知られる「出雲大社」があり古くからの「縁結びの地」としてこのプロジェクトが動き出した。平成23年度までは結婚対策についても何もなく平成24年度「新たな出雲の国づくり計画」により実質平成25年度より事業は実施された。背景としては40代前半の未婚率が約25%と高く推移する中、市民の声対策に取り組むよう意見が出された。次年度26年度から「縁結び支援課」を設置し結婚支援事業・出雲縁結びプロジェクトが動き出した。過去の婚姻数や出生数のデータから、結婚情報の集約、情報発信、セミナー、イベントの開催で最終的にはカップリングを目指しているとのこと。平成28年度4月から、「婚活サポートマネージャー」を配置。婚活希望者の掘り起こしや意識の向上を目的に「島根はっぴーこーでいねたー」「はっぴこ」を企画運営して活動の充実を図っている。

また、コンピューターマッチング「しまコ」の活用によりHP、フェイスブックのWebサイト運営やSNSでの情報発信等で市が取り組んでいる結婚対策プロジェクトを充実させてきた。特に同年10月開始の縁結び女子NAVIは女性の窓口を広げ、内容充実と認知度が上がったの報告あり。近年、令和5年度新規事業では、7月、12月開催のメタバース&リアル婚活を実施し仮想空間「アバター」にて婚活イベントに参加いただきカップル成立を目指している。

移住定住支援については、前述の縁結びプロジェクトと関連、連動しているが、女性や住宅等々にきめ細やかな助成金を出している。UIJターン&定住支援事業など総額57,780千円の事業費を計上、展開している。また過疎、変地は(中山間地)市面積の、全体の3分の2あり住宅リホーム助成金など移住定住促進に力を入れていた。

特筆すべきは、東京圏からの移住を促進するための「わくわく出雲生活実現支援事業」は申請件数：8件、9,600千円の実績がある。要因として、人と親しみやすく、病院などライフラインが整い住みやすい、との意見があった。更に驚いたのは、12月定例会での補正予算で「いずも縁結びPAY」デジタル地域通貨・運用開始に伴う加入促進ポイント付与経費が可決されたことであった。時代と共にスピードが違いうことに痛感させられた。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

出雲市が持つ「縁結び」というブランド力を最大限に発揮、活用し地域の持続可能な発展を目指している点では、本市においても規模は違えど、歴史的背景や経緯から研究し、参考にすべきプロジェクトである。

(別紙2-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風 →

氏 名 佐藤 運喜 →

○ 月 日 令和7年 1月 23日 (～24日)

○ 場 所 島根県 松江市

○ 内 容 松江城を中心とした観光街づくりについて

○ 視察・研修の感想

松江市は、「国宝・松江城」を中心とした観光まちづくりを新たに観光戦略プラン(2023-2029) MATSUEとして策定し推進している。江戸時代初期に築城された現存天守を持つ貴重な城で、その歴史的文化的価値から観光の核として重要な役割を担っている。このプランの大きな視点の1つにこの松江市が日本に3つしかない国際文化観光都市という位置付けで、世界中の観光客を視野にチャレンジしようという心意気であること。また人が集まる城下町で四方を川と堀に囲まれた暮らしに息づく伝統が長い年月、日々の暮らしの中に継承されてきた。4つの基本戦略を上げた。

1) 魅力ある観光素材の磨き上げ・のなかで「食と特産品・高付加価値化」・職人商店街の創出プロジェクト

2) 快適に過ごせる環境づくりと利便性の向上・観光を担う人づくりとおもてなしの向上・水辺の利活用促進事業

3) 松江の魅力発信と顧客の創造・ヒト企業とのつながりづくり・松江版地域スポーツコミッションと観光振興

4) 観光地松江の土台づくり・組織産業の担い手づくり、国内外からのアクセスの向上。観光協会強化、宿泊税導入(案)

基本コンセプトは「ホンモノの日本」として 外国人観光客を含め、心のこもったおもてなしで松江に迎えることであるとしている。更に目標値として2030年には観光消費額で3割増の750億、観光入込み客数で5%増の1,100万人、

外国人宿泊客数は5割増の15万人を目指しこのプランを実行していくと概要版でも説明があった。

規模こそ違えど、目標は高く、気高く、まさに見習いたい。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

本市もオジサン図鑑で一躍、名を挙げたと思いきや、松江市では「旅色 FOCAL」と称した F R E E ペーパー誌があり若いイケメンの青年が数人で市の紹介をしていた。玉造温泉は神の湯として現在に至っていると聞き^{全呼}。^{詳しく}

持続可能な観光地として未来永劫発展していくためには、新たな観光財源の検討・導入は必須のことと考えさせられた。

中でも、宿泊税導入の検討は用途を明確にし地域活性化サイクルの起爆剤として地域の実情に合わせ今後検討研究が必要と考える。

7805

(別紙2-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 佐藤 運喜

○ 月 日 令和7年 1月 24日

○ 場 所 鳥取県鳥取市

○ 内 容 市議会のインターネット中継と「開かれた議会」の取り組みについて

○ 視察・研修の感想

鳥取市は、平成16年11月に周辺8市町村と合併し、面積756km²、人口17万9千人の県庁所在地であり、日本一の大砂丘で知られる中心自治体である。市議会の概要としては、議員の定数32人で4つの常任委員会がある。周辺市町村と「広域行政管理組合」を創設、さらに県内4町と兵庫県2町で「連携中枢都市圏」を形成している。

視察のインターネット中継は平成26年5月より行っており、CATV生中継は、平成6年3月から開始している。

令和元年新庁舎整備に伴いAI翻訳の字幕表示と手話通訳導入を念頭に令和6年9月から本格運用が始まった。

これらの経費については、初期費用2,800千円 ランニングコストで3,453千円その他別途、本議会中継経費9,244千円

ほど要し、全体では12,877千円であるとの事です。実施体制では、技術的には地元テレビ局（鳥取テレピア）とJVCケンウッドの音声表示、ソフトシステムを使用しているが、人的体制では、県内手話通訳派遣協会に委託している。

期間32日間、延べ96人、384時間、令和6年度の契約実績であった。課題としては1人15分が最大稼働時間なので議会開催中の人員の人的支障が出てきていること。1日3名で派遣者を調整しているが、今後AI等により字幕変換精度の向上（AIによる誤変換等もある）などで解決を期待しているとの事であった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

鳥取市の議会改革検討委員会での活動内容では、平成25年度より諮問を受け今日まで提言書にて検討と成果の経緯説明を受けた。時代と当該市町村に即した「開かれた議会」の取り組みは、現在、急加速するインターネット社会においてAI社会にいかに順応すべきか、まだまだ山積する課題が多く、導入に当たっては当該議会周辺整備と市民自らの意見要望等の大きな声の力が必要不可欠であると思う。ジャンプアップするには、大きな力が必要である。

(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 武 藤 清 志

○ 月 日 令和 7 年 1 月 2 2 日

○ 場 所 島根県出雲市

○ 内 容 ①出雲縁結びプロジェクトについて
②定住支援について

○ 視察・研修の感想

出雲市は平成 26 年 4 月に「縁結び定住課」を設置し、出雲ブランド化推進・定住推進・縁結び（結婚対策他）・ふるさと寄付を所管業務としている。結婚支援事業として出雲縁結びプロジェクトをお実施しておりキーワードのひとつとして「いいご縁がいっぱい」縁にはいろいろなご縁がある、縁結びのお膝元「出雲」でたくさんの良縁が結ばれることで出雲を発信していくとしている。具体的には、結婚情報の集約・発信、センスアップセミナーの開催、高校生・専門学校生対象ライフデザイン講座、中海・宍道湖・大山圏域の出会いの場イベントの開催、出会いの場イベントの開催、しまねコンピューターマッチング「しまこ」の閲覧対応、女性専用相談窓口の設置等に取り組んでいる。その中心として会計年度任用職員の婚活サポートマネジャーを 1 名専門的に配置している。婚姻数データにおいて取り組み成果も現れており全国・県の対前年増減率を上回っている状況にある。

移住・定住支援に関しては、UIJ ターン&定住支援事業に 43,000 千円の事業費を計上するなど各種事業を展開しており令和 5 年度には移住・定住相談者が 343 人あった。独身女性の I ターンに特化した助成制度もあり令和 5 年度には新規分 21 人へ 11,722 千円の交付実績があった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

日が沈む聖地出雲、日本遺産としての自治体だけに人口減少社会への、先駆的な事業を実施していると感じた。当市と比較すれば桁違いの観光誘客数を誇りながらそれでも課題解決に向けて取り組んでいる自治体としての謙虚な姿勢はとても好感がある。

(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風
氏 名 武 藤 清 志

○ 月 日 令和 7 年 1 月 2 3 日

○ 場 所 島根県松江市

○ 内 容 松江城を中心とした観光まちづくりについて

○ 視察・研修の感想

松江市は藩政時代に形成された城下町に、明治維新以降、当時の粋を凝らした建物が立ち並び現在もその趣を残している。松江城二之丸にある興雲閣は松江市工芸品陳列所として明治 36 年に明治天皇の巡幸を願い行在所に使用する目的でつくられた華麗な建物である。松江城の外堀・京橋川に佇むカラカラ工房は旧日本銀行松江支店として昭和初期に建てられた建物で匠とともに作る和菓子や陶芸などのものづくり体験を楽しめる。宍道湖畔に佇む島根県立美術館は「夕日の見える美術館」としても有名でロビーの西側をすべてガラス張りにし、夕日鑑賞のために絶好のロケーションを演出している。

松江城周辺には国の登録有形文化財などの近現代建築が立ち並ぶなど様々な時代の建築美が宿っている。市の観光戦略プラン（2023－2029）には先人と私たちが静かに守り育ててきた松江の魅力はパンデミックによる価値観の変化、環境や伝統を次世代につなげることの重要性、地域の持続可能性に注目が集まる今だからこそ大切な価値となる。そんな「あたりまえ」の魅力、日本の原風景の素晴らしさを世界に広め世界中から人が集まる松江をつくっていかう、とあります。玉造温泉は「神の湯」とも呼ばれ出雲國風土記には老若男女が集い賑わっていたと記され宍道湖畔にも松江宍道湖温泉があり松江城を中心とした観光まちづくりは世界中から人が訪れることを目指している。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

歴史がはぐくんできた観光資産が豊富であり本市にない観光スケールである。本市においては相対的な観光価値意識が必要であり既存の価値観に埋没しないよう努めたい。

(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 みらいの風

氏 名 武 藤 清 志

○ 月 日 令和 7 年 1 月 2 4 日

○ 場 所 鳥取県鳥取市

○ 内 容 市議会のインターネット中継と「開かれた議会」の取組について

○ 視察・研修の感想

鳥取市は日本一の鳥取大砂丘を有し中国山地から日本海へと流れる千代川流域にひらけた鳥取平野に古く城下町として生まれ、江戸時代は鳥取藩池田家 3 2 万石の城下町として栄えた。周辺国のロシア、中国、韓国とも距離的に近く対岸貿易を行うのに極めて有利な位置にある。平成 1 6 年 1 1 月に周辺 8 町村と合併し面積 7 6 5 km²、人口 1 7 万 9 千人と、県庁所在地でもあり鳥取県の中心自治体である。

議員定数は 3 2 人（現員数 3 1 人）で 4 つの常任委員会となっている。広域行政としては、県東部 4 町と「鳥取県東部広域行政管理組合」を設置、県東部 4 町兵庫県及び兵庫県北部 2 町と連携中枢都市圏を形成している。

議会の生中継は CATV では平成 6 年 3 月から、インターネットでは平成 2 6 年 5 月から行っており、録画放送は CATV で当日午後 6 時、インターネットは約 3 日後放送している。令和元年新築移転した新庁舎整備に合わせて親子傍聴席を設置ヒアリンググループ対応、議会中継用モニター室整備、手話通訳導入を念頭にスペースを確保した。議会改革検討委員会での協議を重ね AI 翻訳字幕表示等の試行を令和 4 年から実施し、令和 6 年 9 月議会から本格導入に至っている。実施方法は業務委託により導入初期費用に 2, 8 0 5 千円、映像制作配信関係費用 3, 4 5 3 千円のほか本会議中継経費は別途 9, 0 0 0 千円程度要し全体で 1 2, 8 7 7 千円とのことであった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

開かれた議会の取組でインターネット中継は時代の要請ともいえるが費用対効果、市民意見要望等を十分把握したうえで検討しなければならないと考える。